

三草 地域と企業をつなぐ


AMAKUSA

MIRAI SOUZOU

SCHOOL

あまくさ
未来創造
スクール



 あまくさ未来創造スクール



天草市役所 経済部 産業政策課

〒863-0014 熊本県天草市東浜町8-1
Tel. 0969-23-1111 / Fax. 0969-24-3501

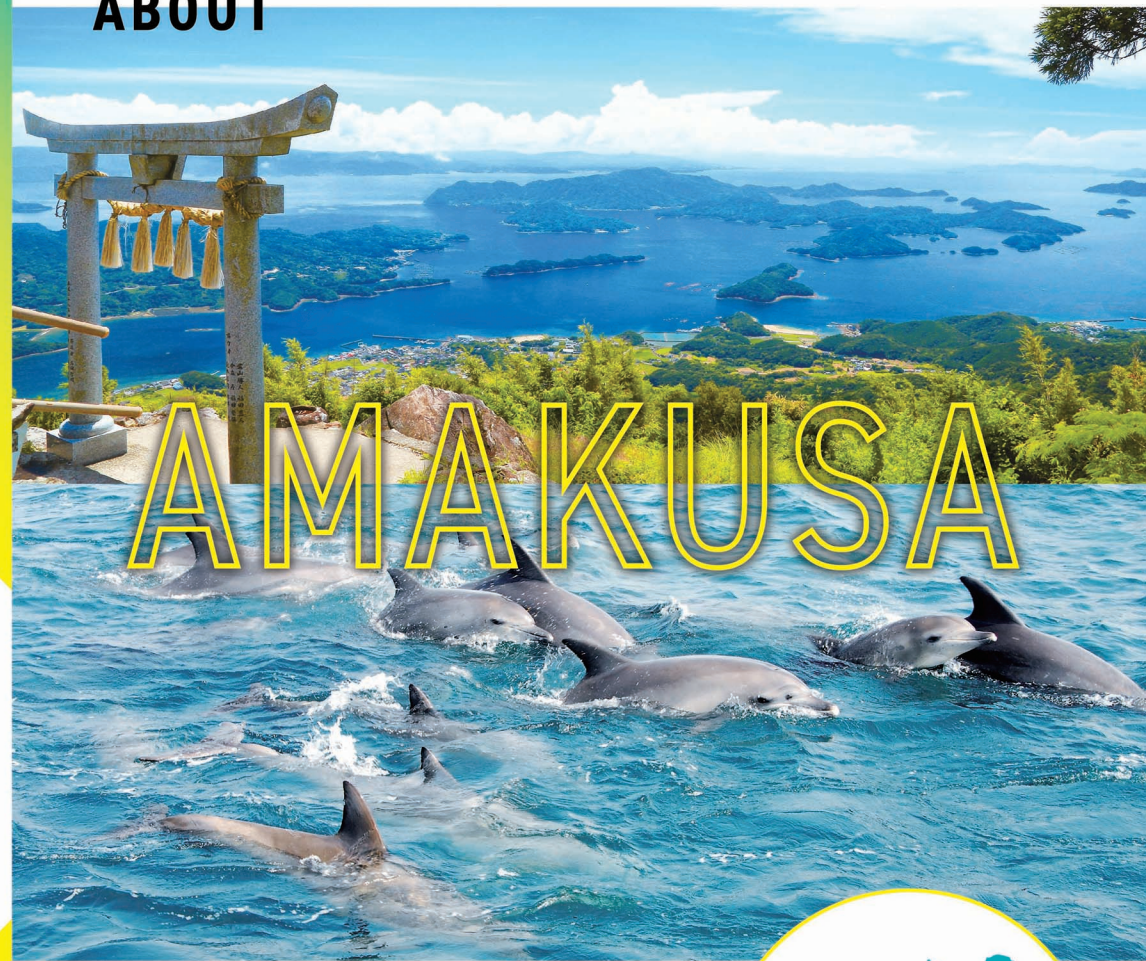


国立大学法人 熊本大学 熊本創生推進機構

〒860-8555 熊本市中心区黒髪2丁目39-1
Tel. 096-342-3145 / Fax. 0969-342-3300



ABOUT



CONTENTS

ABOUT

“あまくさ未来創造スクールについて”

CURRICULUM

“カリキュラム”

MEMBER

“塾生の紹介”

CASE STUDY

“塾生の取り組み”

熊本県天草市

平成18年3月27日に2市8町が合併して誕生した天草市は、熊本県南西部に位置し、周囲を美しく美しい海に囲まれた天草上島・下島および御所浦島などで構成する「天草諸島」の中心部に位置しています。面積は、683.82km²(令和2年10月1日現在)で県内最大を誇り、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業を主として発展してきました。また、自然景観、南蛮文化やキリシタンの歴史など、多くの観光資源にも恵まれています。平均気温(10年間)は16.5℃で、最高気温は36.0℃、最低気温は-3.4℃となっています。暖流の影響で、海岸部の一部において無霜地帯があるなど、冬は暖かく、夏は比較的涼しい海洋性の気候を呈しています。

総面積: 683.82km² (令和6年1月1日現在の国土地理院公表値)
総人口: 75,783人 (男: 35,420人 / 女: 40,363人 / 世帯数: 31,783世帯)
※ 令和2年国勢調査による

AMAKUSA



KUMA
MOTO



あまくさ未来創造スクールの背景

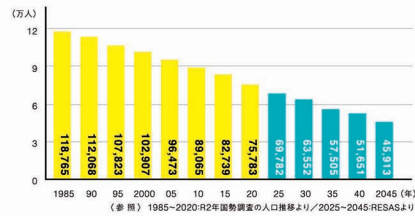
2024年3月時点の天草市の人口は72,516人ですが、RESASの人口ビジョンによると2015年から2045年の間に人口が82,739人から45,913人へと減少すると予測されています。さらに老年人口は、30,809人から23,229人と大きな変化は少ないものの、生産年齢人口(15歳から64歳)は42,089人から18,299人と半数以上、年少人口は9,832人から4,385人と、ほぼ半減する予測となっています。このままでは、内需依存型の経済構造を有する天草市にとって、地域経済に大きなダメージを与えることは明らかで、人口減少や少子高齢化の進行は、空き家や空き店舗の増加、地域の担い手不足など多くの地域課題を引き起こすこととなります。こうした背景から、天草市では令和3年度に熊本大学熊本創生推進機構と共同で市内の若手経営者や後継者を対象に、地域課題の解決や地域資源の活用をビジネスの手法として考えることのできる人材の育成とビジネスモデルの創出を目的とした「あまくさ未来創造スクール」を開講しました。

※内需依存型・国内(地域内)市場を中心に行われる産業。国内(地域内)の景気に大きく左右され、また影響を与える産業構造。



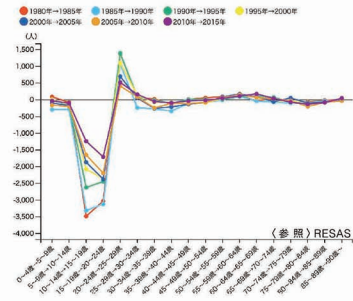
データでみる天草の現状

天草市の人口推移と将来人口



天草市の人口は、全国平均より早いスピードで減少が進んでおり、今後10年間で総人口が12,000人減少すると予測されています。特に進学、就職に伴う人口減少が大きな要因となっています。

年齢3区分別の将来人口予測(天草市)



天草市の産業別市内総生産

※令和2年度熊本県市町村内総生産より引用

産業の特性	地域住民の減少と連動して、規模が縮小していく産業											交流人口で稼ごうる産業
	(単位:百万円)	建設業	電気・ガス・水道・熱供給	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	運輸・郵便業	情報通信業	保健衛生・社会福祉業	その他のサービス業	専門技術・科学技術・芸術・娯楽・文化・スポーツ業	
天草市	実績	14,059	11,499	22,617	6,620	20,081	8,863	3,439	40,796	10,753	9,952	3,707
	構成比	6.90%	5.64%	11.09%	3.25%	9.85%	4.35%	1.69%	20.01%	5.27%	4.68%	1.82%
熊本県	実績	512,633	181,196	603,363	175,366	609,551	216,539	179,218	744,621	244,487	425,990	106,332
	構成比	8.5%	3.0%	10.0%	2.9%	10.1%	3.6%	3.0%	12.3%	4.0%	7.0%	1.8%
(参考) 熊本市	実績	174,900	47,914	312,256	103,037	327,639	66,217	153,709	308,260	113,905	279,309	52,041
	構成比	7.0%	1.9%	12.4%	4.1%	13.0%	2.6%	6.1%	12.3%	4.5%	11.1%	2.1%

産業の特性	地域住民の減少しても地域外への販路拡大によって稼ごうる産業						公的産業	
	(単位:百万円)	農・林業	採石業	水産業	鉱工業	公 務	教 育	其 他
天草市	実績	4,510	949	5,526	12,369	17,094	11,026	
	構成比	2.21%	0.47%	2.71%	6.07%	8.39%	5.41%	
熊本県	実績	152,270	9,257	16,371	1,212,954	401,668	268,367	
	構成比	2.5%	0.2%	0.3%	20.0%	6.6%	4.4%	
(参考) 熊本市	実績	20,829	122	5,703	183,745	230,280	131,174	
	構成比	0.8%	0.005%	0.2%	7.3%	9.2%	5.2%	

小 計	
天草市	実績 203,858
	構成比 100%
熊本県	実績 6,060,182
	構成比 100%
(参考) 熊本市	実績 2,511,040
	構成比 100%

天草市内の総生産額を大きく占める保険衛生・社会事業の割合は20%で、熊本県の平均や熊本市の値を大きく上回っています。人口減少と連動して経済規模も縮小していく産業が約73%と内需依存型の経済構造を有し、人口減少による影響を受けやすい産業構造となっております。

地域みんなで支える「産学官金」が一体となった組織体制

熊本大学熊本創生推進機構との覚書締結

地場企業の若手経営者や後継者を対象に、ビジネスを通じた地域課題の解決方法を学ぶ人材育成塾(あまくさ未来創造スクール)を開講し、若手経営者等を育成し、人口減少などの解決につなげることを目的として、令和3年8月3日に熊本大学熊本創生推進機構と地方創生人材育成の連携に関する覚書を締結しました。

この締結に伴い、共同研究員として天草市から熊本大学に職員を派遣し、人材育成塾の運営に必要なノウハウの取得やカリキュラムの構築に取り組んでいます。産学官金が共創して組織連携のもと、地域の稼ぐ力を育むことや地域企業の第二創業を支援し、ローカルイノベーションを創出することで、地方創生を推進しています。



地方創生の取り組みを目的に連携協定を締結
(天草市、熊本大学、日本政策金融公庫熊本支店、天草信用金庫)

令和3年度に「あまくさ未来創造スクール」を創設・運営するにあたり、熊本大学熊本創生推進機構の金岡省吾教授の指導・助言と、先導する「やつしろ未来創造塾(八代市)や、「たなべ未来創造塾(和歌山県田辺市)」のノウハウを活用してきました。

令和5年2月22日には、天草市・熊本大学・日本政策金融公庫・天草信用金庫の4者にて塾運営での連携を中心とした「地方創生人材育成及び連携に関する協定」を締結しました。これにより、円滑な連携が図られ、自治体、金融機関、大学のみならず民間事業者との連携も実現する、全国の地方創生における先進モデルとなる「産学官の新たな連携の仕組み」を構築。地域における内発型の地方発イノベーション創出により一層取り組んでいます。



組織体制

主催

天草市 / 国立大学法人熊本大学
馬場昭治(天草市長)
小川久雄(熊本大学学長)

連携機関

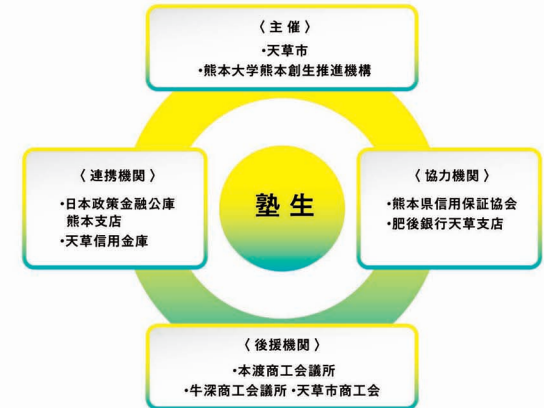
日本政策金融公庫熊本支店
天草信用金庫

協力機関

熊本県信用保証協会
肥後銀行天草支店

後援機関

本渡商工会議所
牛深商工会議所
天草市商工会



段階的に学び、自ら考える。 ビジネスプラン構築に向けた実践的プログラム

専門家や実践者などによる講義を開催するとともに、塾生同士のディスカッションを通じて、地域課題や自社課題を深く掘り下げることで、塾生自らが具体的なビジネスプランを考えていきます。



スクールの修了後が本当のスタートライン

修了後も、活動報告会やセミナーなどを通じてビジネスプランをブラッシュアップしたり、塾生同士が継続的に連携を図っています。また、ビジネスプランを実践した修了生が、天草未来創造スクールや高校、大学などに講師として出向き、次の担い手を育成しています。



スクールで立案したプランを地元高校で実践している様子



二期開講式で講義を行う一修了生



スクールを通じてできた繋がりでイベントを実施

運営スタッフ

※令和6年3月現在



教授 **金岡 省吾**

副学長(地方創生・地域連携担当)
熊本創生推進機構
副機構長/地域連携部門長



参事 **鍋屋 安則**

熊本創生推進機構 地域連携部門
政策研究員
田辺市たなべ営業室 参事(田辺市より出向)



助教 **伊藤 大志**

熊本創生推進機構 地域連携部門
助教



政策研究員/主査 **森内 未来**

熊本創生推進機構 地域連携部門
政策研究員
天草市経済部産業政策課
主査(天草市より出向)

カリキュラムの一例

日程	カリキュラム	講師等
1日目	■ 地域活性化論①「CSV、ローカルイノベーション」	■ 熊本大学:金岡教授
2日目	開講式	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 海風亭:美浪 昌哉氏 ■ 吉永製パン:右山 秀幸氏 ■ びとん:金子 幸生氏
3日目	■ ビジネスアイデアの発想方法	■ 日本政策金融公庫:奥田 智則氏
4日目	■ 地方創生活活性化論② 「小規模多機能自治・縮小するまちとビジネスの両立」 「人口減少が引き起こす地域課題と地方創生」 ■ 和歌山県田辺市の事例	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 田辺市:鍋屋 係長 ■ (株)日向屋:岡本 和直氏 ■ 榎本家具店:榎本 将明氏
5日目	■ 地方創生活活性化論③ 「地方創生から考える地域課題とまちづくり」「人口減少のメカニズム」 ■ ケーススタディ	■ 熊本大学:金岡教授 ■ オールケアサポートさくら:荒木 圭一氏
6日目	■ 地域資源を活用した観光地の可能性	■ (株)シークルーズ:瀬崎 公介氏 ■ 東シナ海の小さな島ブランド(株):山下 賢太氏
7日目	■ 超高齢化社会ビジネスの可能性	■ 三菱UFJ:岩名 礼介氏
8日目	■ 田辺事例講義(県内共同講義)	■ 田辺市:鍋屋 係長 ■ (株)たがみ:田上 雅人氏 ■ (株)高垣工務店:石山 登啓氏
9日目	■ 天草市の新たなまちづくりとビジネスチャンス ■ 地域づくり最前線! ローカルイノベーション創出事例」	■ 天草市:馬場市長 ■ 野村総研:坂口 剛氏
10日目	■ バリューチェーン・サプライチェーン	■ (名)天草酒造:平下 豊氏 ■ (株)パストラル:市原 幸夫氏
—	個別ヒアリング(12/21・22)	■ 事務局
11日目	■ 地域活性化論④ 「子育て世代の移入とビジネスの両立」	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 魚津ココママ:大島 恵氏 ■ NPO法人子育てネットワークわいわ:澤田 福美氏
12日目	■ 〈演習〉一行コンセプト	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 金融機関
13日目	■ 〈演習〉三行コンセプト	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 金融機関
14日目	■ 〈演習〉中間プレゼン	■ 熊本大学:金岡教授 ■ 金融機関
15日目	■ 〈修了式〉最終プレゼン・ポスターセッション	■ 熊本大学:金岡教授、他

※令和4年度カリキュラムより引用(両書は掲載当時の内容です)

※紹介文は、受講当時のものです。

原田 麻美

株式会社サンライフ21

まちの電気屋さんを夫婦で経営。まちの電気屋はお店に入りにくい、高いと思われがち。お店だけでは限界という課題があったが、最近スーパーでの展示会、企業での実演会、SNSでの周知などを実践している。

野口 太志

インテリアプラザ/ノグチ

内装業を家族で経営。人材不足のため断らざるをえない業務がある。内装業は熊本地震以降、着工件数が増加し、人材確保が困難であったため、新築住宅の受注減少、業務維持に影響が出ている。人材不足の中でもやれることを考えたい。

三山 剛

天草ケーブルネットワーク株式会社

テレビ制作会社勤務。入社19年目。有線テレビ、電気通信事業・放送事業、ラジオ(本渡から拡大し、天草・上天草2万3千世帯)ニュース、イベントなどを題材に制作。インターネット中心になり、テレビ離れが進んでいることが課題。

船田 幸平

株式会社船田工務店

両親が工務店を経営していたが、公共事業減のため農業・天草大王生産+販売へ転換。コロナで販路がストップし、復活には時間がかかるが、天草大王組合で新商品開発や展示会参加などに取組んでいる。

原田 良

有限会社原田工務店

5年前にUターンし、父が経営する工務店を事業承継。昨年、代表取締役へ。郡部には若い人がほとんどいないため、家を建てる人もゼロ。業界も人材不足。仕事を活かした地域活性化に取り組みたい。

金子 幸生

天草ホルモン酒場びとん

居酒屋経営。15年間、博多のもつ鍋屋で働き、その後Uターンして開業。地域に支えられ、なんとか経営しているが、コロナで前が見えない状況。天草で働くお母さんを助けたいとの思いから、テイクアウト、オードブルにも力をいれる。

右山 秀幸

吉永製パン所

人口減が厳しい牛深で祖父の代から続く、創業72年のパン屋を経営。Uターンして10年目。地元だけではなく、他地域でも販売している。人口は増えないため、観光としての牛深、交流人口の増加を目指したい。

富崎 凜

Amakusa KAERU Lab

会社員。5歳よりニホンヒキガエルの保護活動を行う。里山をつかった産業、天草の木材の活用、里山経済が動くプロジェクトを考えたい。

山崎 優美子

有限会社幸福堂

車海老養殖場を家族で経営。コロナによる航空便ダウンにより遠方の市場に出荷できないときがあった。生産性の安定・PRが必要。また、旅館業に従事していた経験を活かし、美味しい車海老を食べられる場所を作りたい。

明瀬 僚之介

株式会社ミヨセ(あまくさ元気村)

花・野菜苗、園芸資材等の販売、造園を行う。また、天草の新鮮な野菜や健康食品も販売。若者の庭造り離れが課題であり、SNSや天草まちゼミでPR中。そのほかネット、EC販売にも力を入れていきたい。

松浦 亜季子

株式会社天草海鮮蔵

イルカウォッチング+飲食+お土産物を販売する店舗を母と経営。自然を商材にJTBと契約。漁獲量の減少、イルカの生態変化、気候変化などが課題。外貨獲得や漁師の担い手不足解決の為に観光を介した生業を行ってきたい。

※紹介文は、受講当時のものです。

池崎 謙吾

池崎しょうゆ製造元

醤油と味噌の製造販売を行う会社の5代目。業界は近年出荷量の減少が続いており、伝統の味を守るための創意工夫が求められているが、結果が出ていないのが課題。天草の発展と自社の変化に繋がるきっかけを掴みたい。

嶺崎 智広

ごしょんなべーす / Aoi yado

一般社団法人アコウプロジェクト+嶺崎設計事務所+地域おこし協力隊として御所浦に移住。建築士としての技術・知識を活かし、空き家の利活用、課題解決に取り組みたい。

吉田 律子

フレッシュヨシダ

医療現場に従事後、精肉・青果を扱う地元スーパーで働き、母が大型トラックでの移動販売を行っている。精肉・BBQ+学校への卸、惣菜のテイクアウト店舗をオープン。スクールを通じて人手不足など課題解決のヒントを見つけた。

渡邊 隼

バララボ天草

東京でSEとして働いていたが地域貢献のため地域おこし協力隊としてUターン。スクールを通して、天草内の活動に留まる事なく全国や世界に目を向けた活動ができないか模索中。

城下 久美子

Chouchou

ハンドメイドでこども服の制作を行っている。手に取ってもらい購入してほしいため、マルシェ開催を目指している。モノがあふれる中でいかに差別化を図るかが課題。スクールを通じて天草の子育て世代を巻き込んだ活動をしていきたい。

渡辺 唯菜

glad

ドライヘッドスパを経営。社労士事務所やみつばちラジオのパーソナリティを経験。沢山の方に出会い、天草の未来について考えるきっかけができた。スクールではクリエイティブな発想を大切に、広い視野を持って同期生と協力して自身の活動に繋げていきたい。

林 雄介

天草自然生活農法

50年間続く菜タバコ栽培農家で、30歳の時に父から継承。天草の農業は家族経営が主体だが、時代を見据え雇用経営へシフトした。スクールを通じて他業種の経営者から意見を募り、自分の経営に活かしたい。

江頭 隆太

伴走するデザイン事務所OFDO

福岡での広告代理店勤務を経て、天草へ移住。誰にでも成果物が作れる時代だからこそ、デザイナーの特徴をどこで出していくかが課題。事業者と中長期的に伴走するパートナーとして関わってきたい。

江崎 航

三和商船株式会社

牛深でガソリンスタンド、保険、不動産、長島航路のフェリー業を営んでいる。多くの地域課題を1つでも解決し、自社存続に繋げたい。フェリーでは6~7割が物流に利用され、観光客の利用が少ないという現状を踏まえ、今後を考えてスクールに参加。

永野 貴大

tacouRage

牛深で父が営んでいる写真館で働いていたが、2年前にカメラマンとして独立。現在は動画編集も行っている。今年の夏、牛深の商店街に賑わいを生み出す宿として「民宿108」をオープンした。

中村 陽

株式会社中村建設

主に土木、建築、舗装業を行う。グループ会社のステップファームでは廃校のグラウンドを利用してミニトマトやキクラゲを栽培。スクール参加の動機は地元への取組が少なかったため。スクールを通じて人脈を広げていきたい。

西水流 美菜

Cuore.hair&spa

美容師。お客様に寄り添うセラピストとしてサロンワークに携わる。関東から天草へUターン後、自身の店舗をオープン。スクールでの学びを通して天草で自分ができることを精一杯やっていきたい。

—— スクール三期生 ——

※紹介文は、受講当時のものです。



橋本 美和

御所浦未来島株式会社

御所浦の玄関口として、案内所、物産館の機能を持つおさい館を運営。高齢化に伴う人口減少が課題のため、おさい館を通して地域を盛り上げていきたい。



山下 蒼悟

よってけえ〜な

有明町須子で、惣菜・日用品などの移動販売を営んでいる。高齢者から買い物や調理が大変だという声を受けて事業を開始。高齢者が増加する将来を見越して、事業の拡大も計画している。



吉田 隆一郎

有限会社愛夢里

温泉・宿泊・飲食・売店・海上コテージを展開する天然温泉施設に就職。現在は経営陣として自社の経営課題を分析中。スクールで課題解決のヒントを探り、愛夢里の再興に繋げたい。



野上 晃世

株式会社野上電設

電気・通信工業業を中心に、水道・空調・防災などの設備業を展開。これまで現場が中心であったがマネジメント業をスタート。建設業の3Kイメージ(きつい・汚い・危険)を払拭し、人手不足解消を目指したい。



松本 美幸

福速木どうふ

広島県出身。夫の祖父から引き継いだ国産大豆と天草天然にがりで作る豆腐屋を営む。防腐剤を使用しない豆腐、おからの店頭販売のほか、個人宅への訪問販売も拡大中。



上村 剛史

栄美屋旅館/cafe pole

Jリーグのクラブチームでコーチとして活動後、家業(旅館業)に従事。コロナ禍で宴会需要の減少や、地元客との繋がりが減少。観光客に天草まで足を運んで泊まってもらう動線設計が課題。



横田 千恵美

有限会社リックよこ田

河浦のデイリーヤマザキを家族経営。高齢者の買い物難民に向けて、地域団体と協力して宅配事業も検討中。地域密着型スーパーだからこそできるサービスの形を目指している。



大窪 堯志

株式会社オタミ

家業である建設・木工・不動産業の代表。建設業参入にあたり「大窪製作所」から「オタミ」へ社名を変更。人材不足と人材育成に課題を感じているので、同期生と意見交換をしていきたい。



永田 侑太郎

有限会社永田冷菓

五和町御領でアイスクリームの製造会社とプロレス資料館を家族で経営している。プロレスのレフェリーとしても活動中。自身をモデルケースに、アトツギの形を示していきたい。



佐々木 淳一

昭和建設工業

本渡地区の総合建設会社で事業承継後、社長就任。前職では医薬品の営業などを経験。公共事業が減少する中で技術者を確保して新事業を展開し、地元への貢献ができないか模索中。



加治屋 佑美

Komorebiごはん

鹿児島県出身。亀橋町でカフェを営む。畑や田んぼの体験を通じて、お客さんとの交流を計画。移住して間もないのでスクールを通して人脈を駆け、自身の成長につなげたい。



川田 大志郎

川田三郎果樹園

農園の三代目として、柑橘を作りながら「晩柑王子」としてSNSでPR活動中。後継者不足、高齢化による新規就農者が少ない状況を打破すべく、農業の楽しさや魅力を発信していきたい。



高田 乃有季

のゆき農園

現役看護師でありながら、祖父の晩柑農園を事業承継。晩柑の知名度UPが課題。また、看護活動を通じて医療と食の関係にも注目。次世代に残せる農園を目指し、晩柑のPRを進めている。

AMAKUSA
MIRAI SOUZOU SCHOOL

CASE STUDY

CASE.1

天草大王を扱う店舗を開店、販路拡大の足がかりに。



一期生

かつて天草地域では、農業・漁業などが盛んでしたが、近年では商品の流通量の減少や高齢化・担い手不足などから、天草における一次産業が衰退。

当社でも熊本の地鶏「天草大王」の飼育から販売を長年生業としてきましたが、天草大王の知名度向上や美味しさを広く伝える必要性を強く感じていました。そこで、直接消費者へ提供する場(天草食材コミュニティ)を作りたいと考え、未来創造スクールの受講を通して地域の課題である一次産業の活性化を目指し、天草大王と天草の魚を楽しめる店舗を福岡県に開業しました。

そこでは天草食材のすばらしさ、産地の特徴、生産者のこだわりなどをお客様へ伝えており、大変喜んでいただいています。また来店いただいた飲食関係者との新たな取引が開始するなど販路拡大にも繋がっています。



令和6年3月に東京で開催された「全国青年農業者会議」で、農業経営や産地の課題解決に向けたプロジェクト発表を行い、最優秀の農林水産大臣賞に選出されました。

■ 船田工務店 / 日の出農場(養鶏・卸売)
〒863-0102 天草市新和町大多尾2406-14

■ 鮎と天草大王 天音(飲食業)
〒810-0022 福岡市中央区薬院2-2-28レキシントンスクエア薬院2F



あてて手を加えずシンプルに、食材を活かす調理。

CASE.2

耕作放棄地が生み出す、サツマイモの可能性。



一期生

自身はもともとは内気な性格で、決して人前に出るのが得意な方ではなかったのですが、スクールの同期と出会い、一緒に講義を受けながらディスカッションをしていく中で、価値観が変わり始めました。

私がスクールを通して取り組み始めたことは、農業体験を通じて農業や有機野菜に対する学習の場を作ることでした。アトピー持ちの妹が体を壊したこともあり、多くの人に体に優しい商品を知ってもらい、健康になってもらいたいと感じるようになったためです。

現在は耕作放棄地を活用して畑を作り、有機サツマイモの収穫体験や親子向けの食育教室を行い、健康的な食事の重要性を伝えています。また、新しくキッチンカーを導入し、自家栽培のサツマイモを使った芋スイーツをマルシェで販売するなど、日々楽しみながらチャレンジしています。



株式会社ミヨセ/あまくさ元氣村(農業・小売)
〒863-0042 天草市瀬戸町73

CASE.3

ピンチをチャンスに！バリを使った商品開発に挑戦

一期生
松浦 亜季子

私が事業を営んでいる鬼池地域は、古くからワカメの養殖が盛んに行われてきました。この地域は有明海の入りに位置し、潮の流れが速く豊富な養分が含まれています。そのため最高の漁場であり、多種多様な魚介類が生息し、昔から野生のイルカが生息しています。

近年、この海域でバリ(アイゴ)がワカメの新芽を食べてしまう食害が問題となっています。バリは地元で刺身などでも食べられていますが、独特の香りがあるため需要が少なく、安価で取引されてしまう魚です。そこで、スクールを通してバリを使った新商品「バリバー」の開発に取り組むことにしました。

「バリバー」は、バリの身を活用してすり身をつくり、成形して焼き上げたものです。当社でバリを通常の値段で買い取ることで漁業者の収益につながり、海の環境を守ることもできます。この商品を通じて、地元元民や観光客に持続可能な海の環境づくりについて関心を持ってもらいたいと考えています。

天草海鮮蔵(観光サービス・飲食)
〒863-2331 天草市五和町鬼池4733-1



CASE.4

学生と一緒に作り上げる、課題解決に向けた取り組み

一期生
原田 良

スクールでは「職人育成計画」と題したプロジェクトを計画しました。地域課題である人口減少や高齢化による担い手不足、若年世代の働き場所不足と、自社課題である人手不足や伝統技術の継承などの課題について「職人を育てる」をコンセプトに、自社の強みを活かした地域課題の解決に取り組んでいます。

令和4年度は天草工業高校土木科の学生に、伝統技術の継承と若手技術者の育成をテーマにした木材の手刻み実技実習を半年間行い、令和5年度は実際の工事現場で塗装・インテリア工事の作業を体験してもらいました。また、今後の学習・進路につながる講座として、建設業の3社(大工・鉄筋・建具)による実技体験も実施。学生が楽しみながら作業する様子を見て、若い世代が何に興味関心を持っているのかヒントを得られました。

今後も様々な人達に職人という仕事に興味を持ってもらうために、職人仕事を体験する場所の提供を続けていきたいと考えています。

原田工務店(建設)
〒863-2171 天草市佐伊津町3137番地1



CASE.5

天草の港町“牛深”を新たな観光拠点につくりかえる

一期生
右山 秀幸

祖父の代から続くパン屋の3代目としてUターン。「将来的にこういうことをやりたい」と、明確なプランを持ってスクールを受講して、自分だけで考えていたプランよりも一層やりがいのあるプランを作り上げることができました。

地域課題である「著しい人口減少」「弱い観光」と、自社課題である「地元顧客の来店者数減少」「商品単価が低い」という双方の課題を解決する「牛深の海を活用した新たな観光拠点の整備」プロジェクトに取り組んでいます(令和6年度中に施設オープン予定)。食事、買い物、仕事・レジャー、コミュニティという4つの楽しみを軸に、牛深地域の交流人口拡大と観光地としての魅力アップを目指し、自社商品の単価アップや地元来店者の増加という相乗効果を期待しています。

一人ひとりが地域に目を向け、企業が力を合わせることで、牛深を最高の観光地にしていけると信じてチャレンジを続けていきます。

吉永製パン所(製造・小売)
〒863-1901 天草市牛深町1124



CASE.6

育児女性の悩みを解消するコミュニティの形成

一期生
金子 幸生

本場博多仕込みのホルモン料理の味を天草に持ち帰り、コロナ蔓延当初の令和2年4月に居酒屋をオープンさせました。そんな中、一刻一刻と変化する社会変化への対応と厳しい経営状況を少しでも変えようと未来創造スクールに入りました。

地域課題として子育て層の減少に注目し、自社の強みである食を通じた子育て支援「～食で繋がるご縁～天草女子の子育て応援団プロジェクト」というプランを立案。天草の女性経営者や後継者で立ち上げた「アマゾーナ」という団体が親子食堂を定期的で開催し、子育てに関する悩みや問題を収集しながら熱い議論を交わしたり、お母さん達の関係作りにも繋がっています。

今後もこのアマゾーナを通じて、天草で一生懸命子育てを頑張られているお母さん達を手助けしていければいいなとメンバーと意思を共有しています。

ホルモン酒場びとん(飲食)
〒863-0017 天草市船之尾町4-8



CASE.7

御所浦から始める新たなコミュニティの拠点



二期生
楢崎 智広

スクール内で紹介された高垣工務店(田辺市)が運営する、地域住民が無料で使えるコミュニティスペース「シリコンバー」を参考に、もともと整備予定だった「ごしょんなべす」の方針や目的、活用方法を再考。「みんなにとっての4thプレイス」というコンセプトのもと施設の運営を開始したことで、島内外の方との接点が増えたり、メディアの取材や施設の視察などに繋がりました。

整備前と後を比較すると、間違いなく関係交流人口の増加や僕自身の知名度向上につながりました。今後もブラッシュアップを含め御所浦地域がもっと良くなるようにしっかり運営していきます。また、スクールを通じて構築した金融機関とのつながりにより、融資相談のハードルが低くなり、2024年1月に設立した化石採集体験事業を運営する「株式会社白亜紀」では、天草信用金庫と日本政策公庫による協調融資の申し込みを実施しました。



ごしょんなべす / Aoi yado(宿泊サービス)
〒866-0334 天草市御所浦町牧島428

CASE.8

干し柿で農園の未来像をデザインする



二期生
林 雄介



二期生
江頭 隆太

【林】親から事業継承して経営者となった葉たばこ農家でしたが、天草の手野地域でのみ作られる特産干し柿を普及させるため、私の農園でも作り始めました。干し柿を口にしてもらう機会が減っているため、商品のコンセプト設計や見せ方も重要だと考え、同期でデザイナーの江頭さんと共同で、自社商品「天授柿」のリブランディングを進めています。

さらに農園と消費者との接点をつくるため、農業体験事業もスタートしました。初年度はモニターとして同期生を中心に参加してもらい、野菜や柿の収穫や干し柿加工の体験をしてもらいました。

将来は6次加工のさらなる商品展開と海外輸出を目標に、様々な業種が集まっている同期生との交流を深めながら挑戦していきます。

【江頭】デザインの目的は見栄えを整えることではなく、生産者の想いを具現化し、消費者に伝えるための手段です。その中で、いかに差別化を図るかが今後の売り上げにも直結するため、林さんと丁寧に対話を重ねながら天授柿ブランドを育てていきたいと思っています。



天草自然生活農法(農業) 伴走するデザイン事務所 OFDO(デザイン)
〒863-2424 〒861-7201
天草市五和町手野1-1094-2 天草市有明町赤崎2003-12



あなたのチャレンジが地域を変える